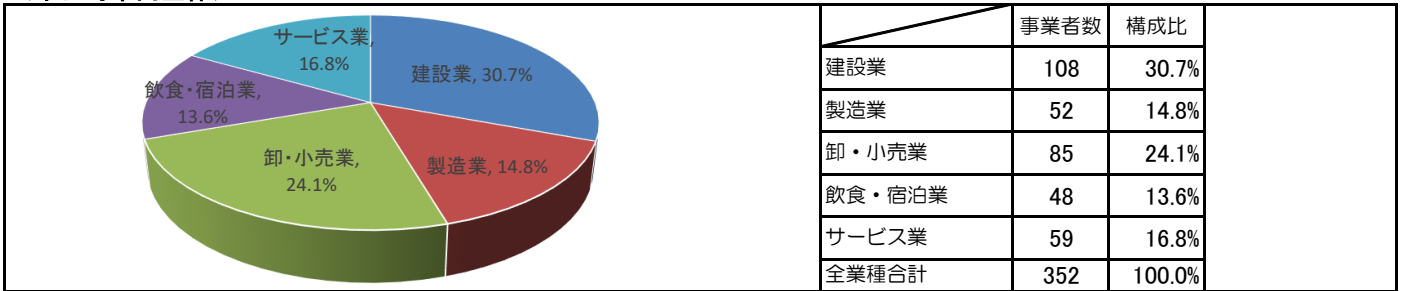


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R6.1.1~R6.3.31) 川西地区

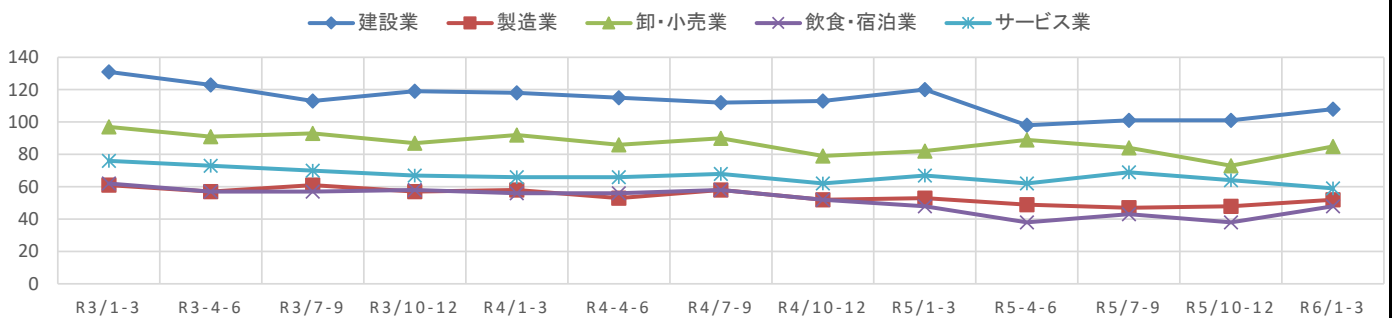
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



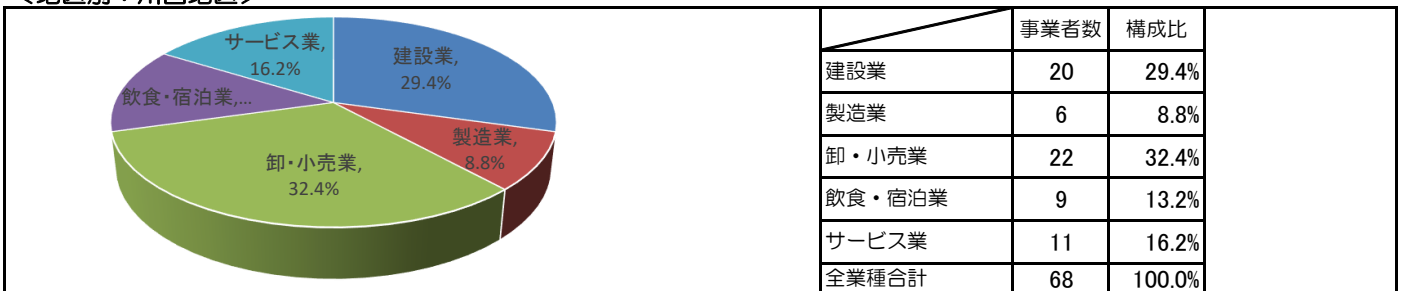
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



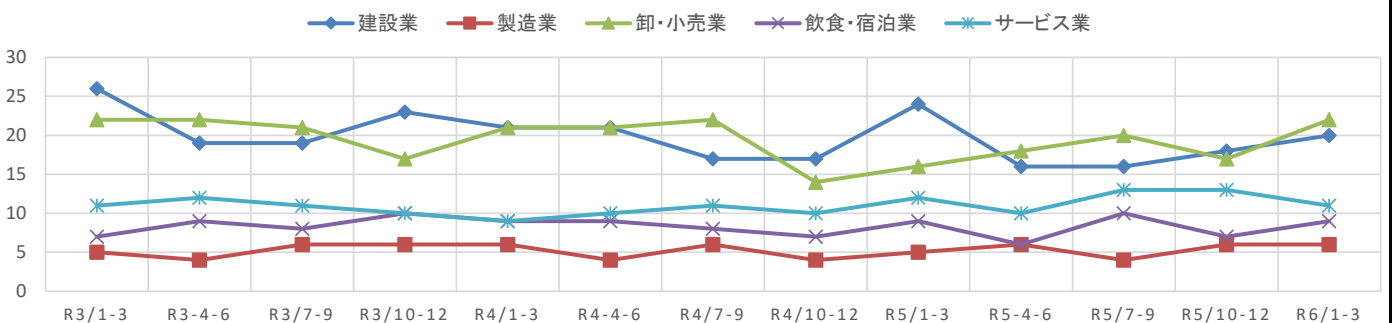
<コメント>

今回の調査は、十日町市内352事業所から回答を得られた。前回調査よりも28事業者増加し、業種別に見ると建設業、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業の回答数が増加した。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

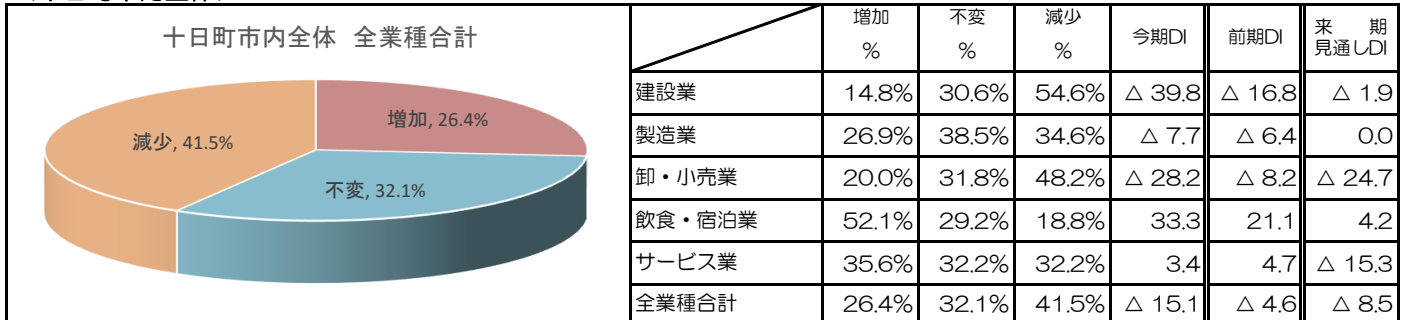
今回の調査は、川西地区68事業所から得られ、前回調査よりも回答数が7事業者増加している。飲食・宿泊業では横ばい、サービス業では2事業者減少となったが、その他の業種では回答数が増加した。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

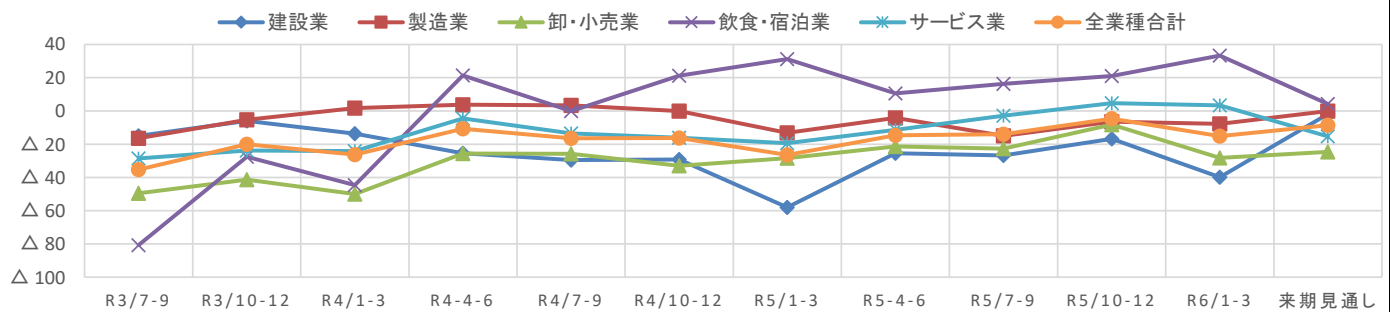
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



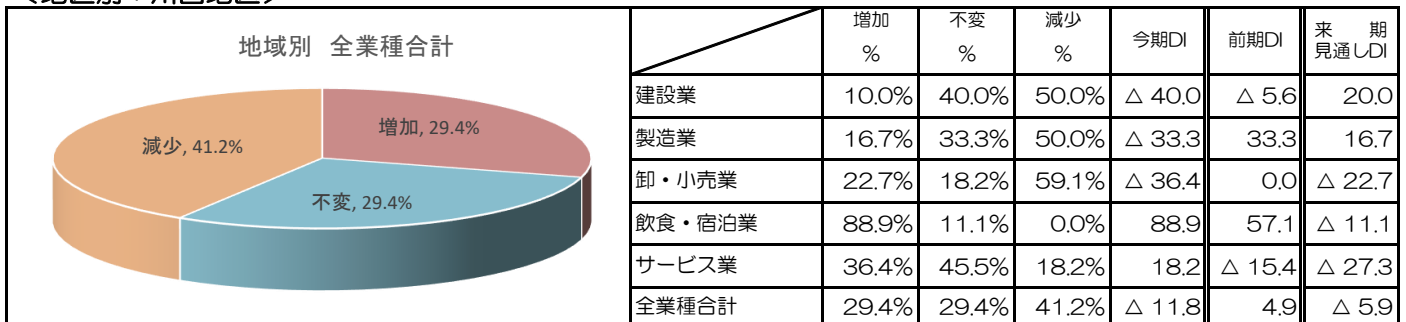
業種別売上の推移（市内全体）



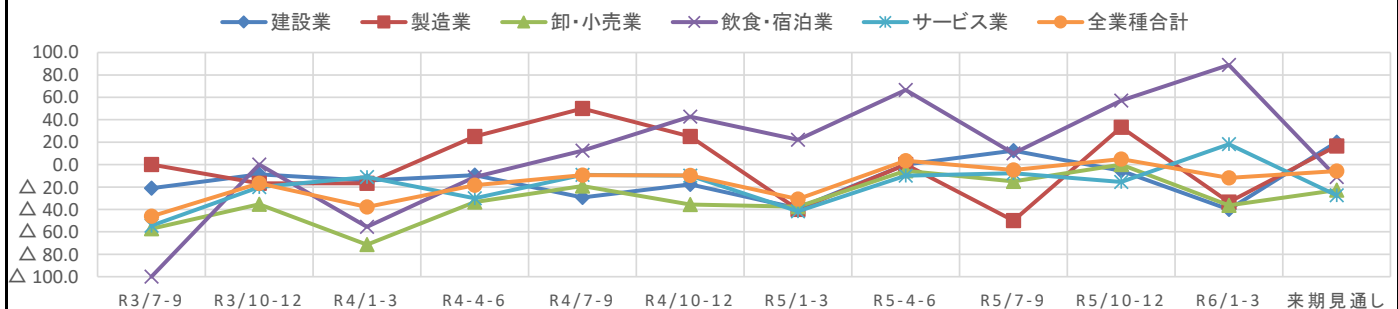
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△15.1ポイントで、前回調査時よりも10.5ポイント減少となった。飲食・宿泊業ではDI値が上昇したが、それ以外の業種では減少した。来期については、飲食・宿泊業とサービス業においてDI値が減少する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



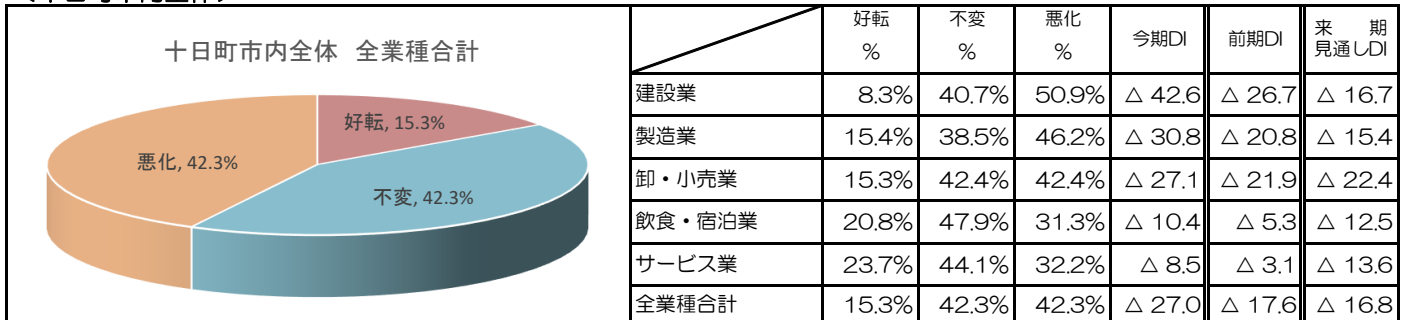
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は、全業種DIで△11.8ポイントで、前回調査時よりも16.7ポイント減少となった。飲食・宿泊業とサービス業においてはDI値は増加したが、その他の業種ではDI値が大きく減少した。一方で、来期の見通しでは飲食・宿泊業とサービス業で大きくDI値が減少する見込みである。

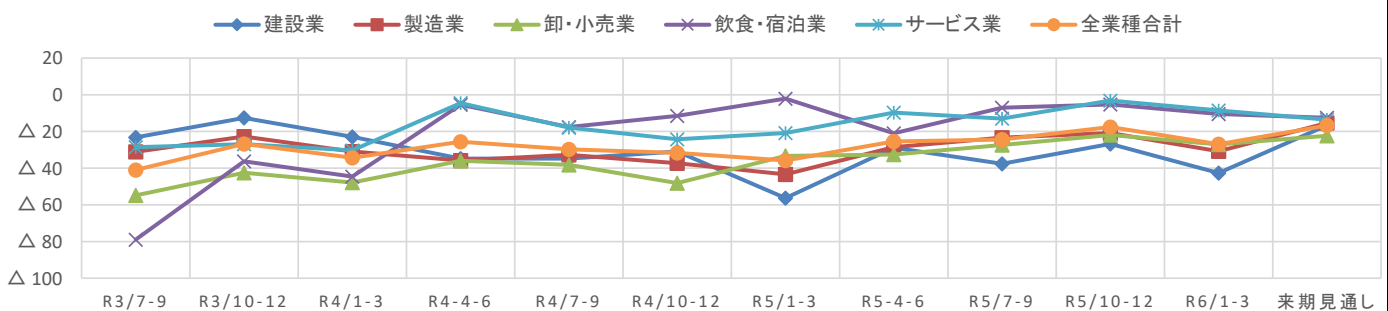
2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



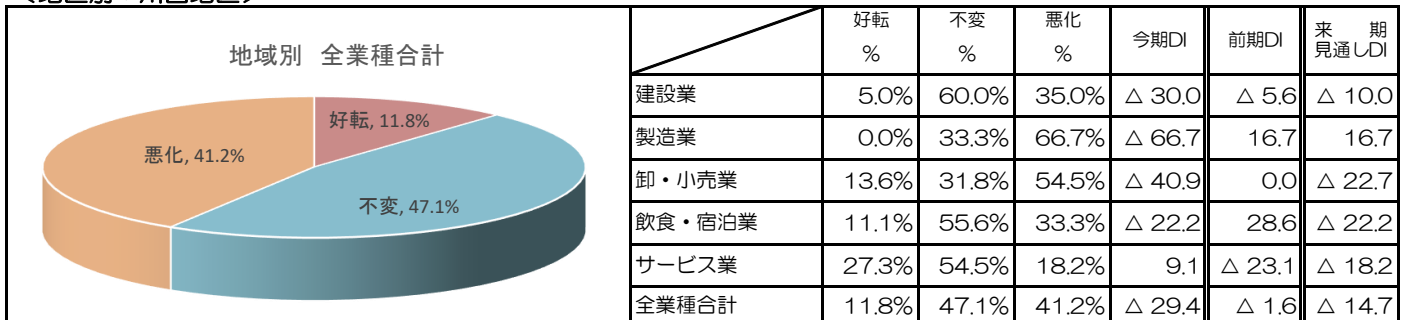
業種別採算の推移(市内全体)



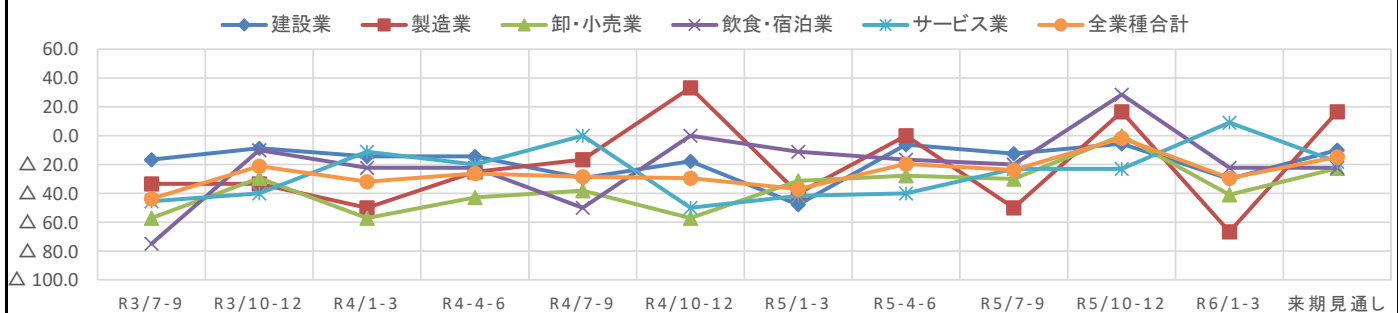
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△27.0ポイントで、前回調査より9.4ポイント悪化している。全業種で悪化となった。来期見通しでは、飲食・宿泊業とサービス業においてDI値が悪化する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



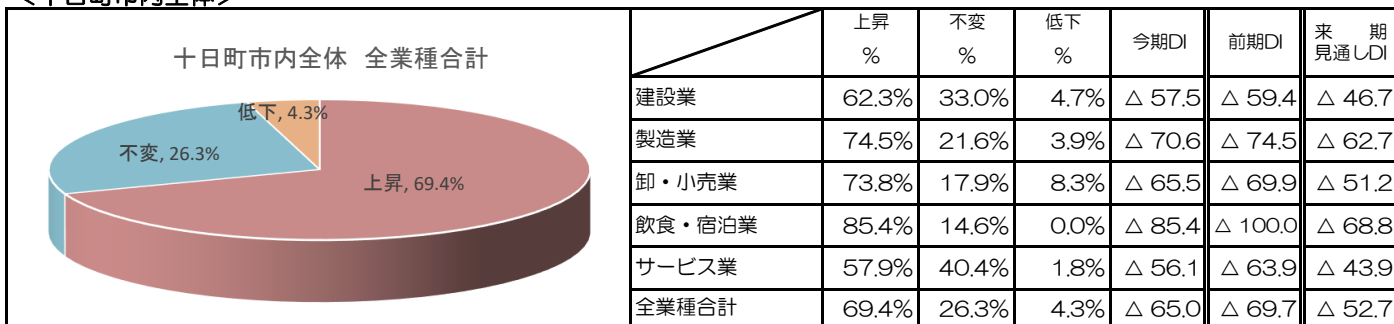
<コメント>

川西地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△29.4ポイントで、前回調査時よりも27.8ポイント悪化している。サービス業のみ好転したが、それ以外の業種では悪化となった。来期の見通しでは、製造業では大幅な好転の見込みとなり、サービス業では悪化の見込みとなっている。

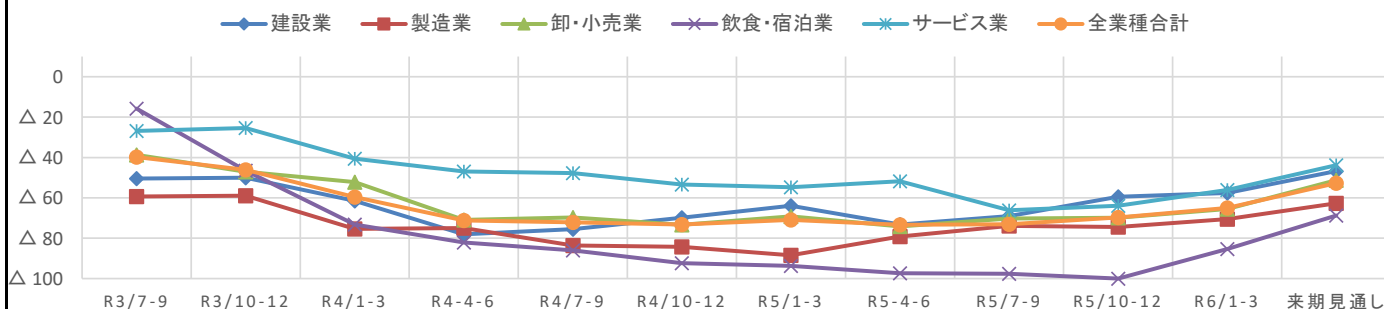
3. 仕入単価について

- 1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



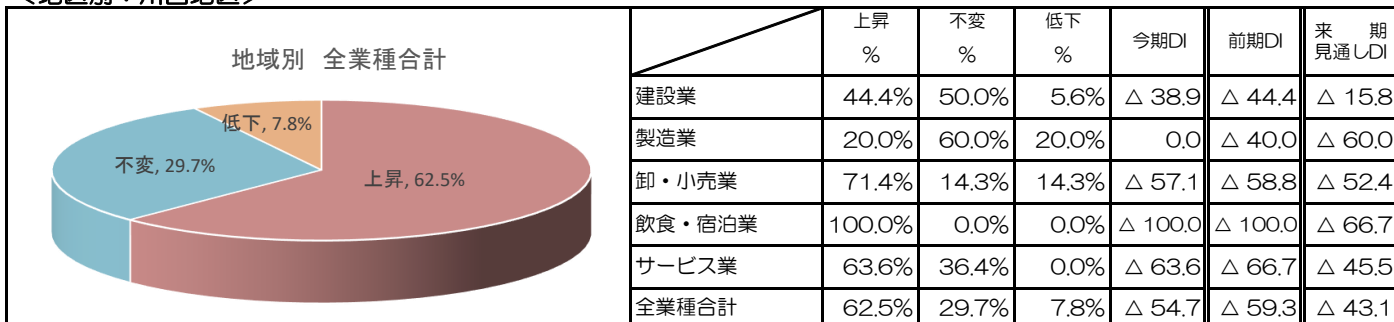
業種別仕入単価の推移(市内全体)



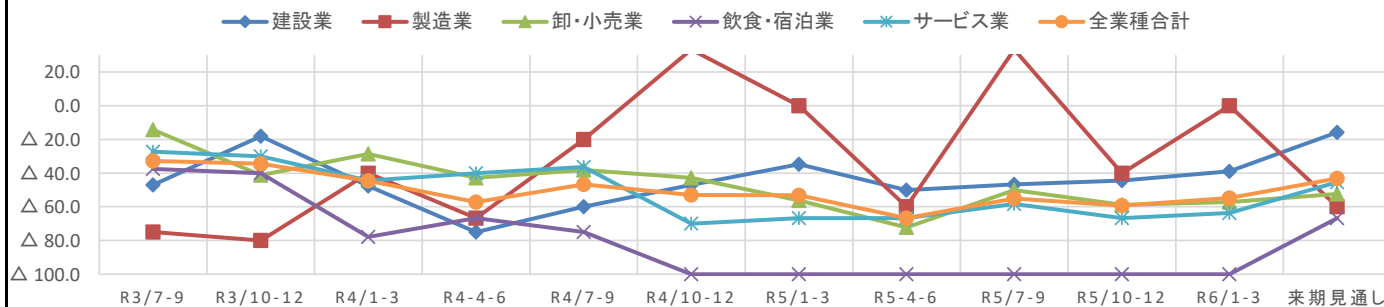
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△65.0ポイントで、前回調査時よりも4.7ポイントの仕入単価低下が見受けられる。来期見通しは、全業種で今期よりも仕入単価が低下する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



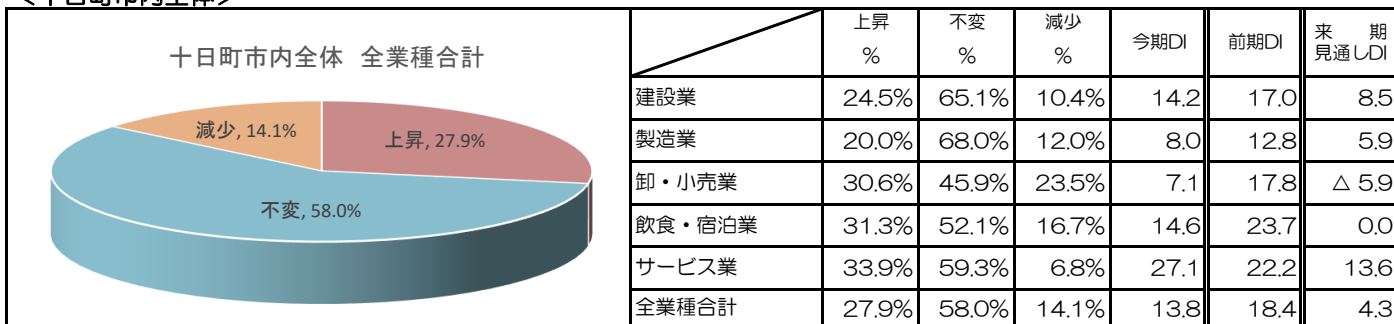
<コメント>

川西地区の今期の仕入単価の状況は全業種DI値で△54.7ポイントで、前回調査時より4.6ポイントの仕入単価低下となった。飲食・宿泊業では横這いであったが、それ以外の業種では仕入単価低下となった。来期見通しでは、製造業以外で更なる仕入単価低下が予想される。

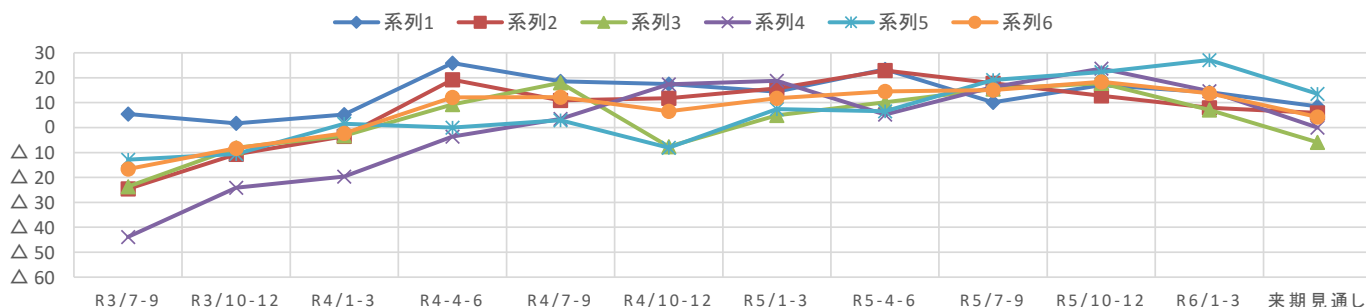
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



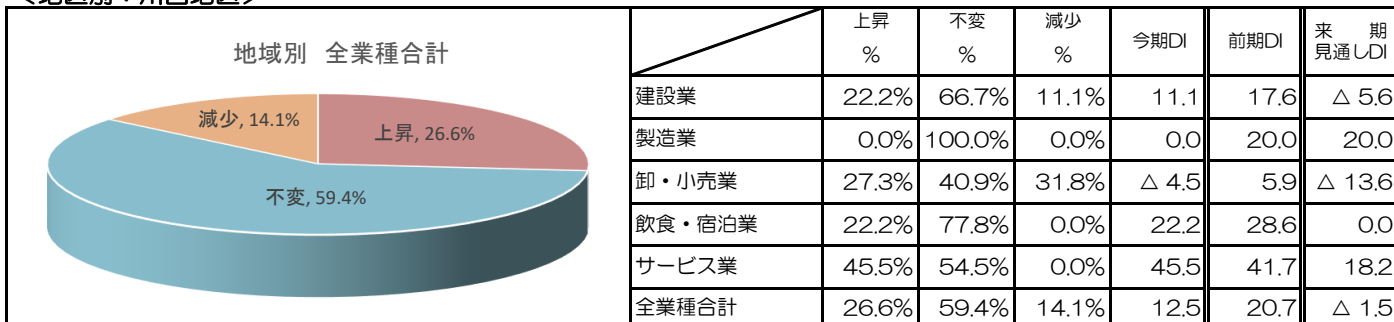
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



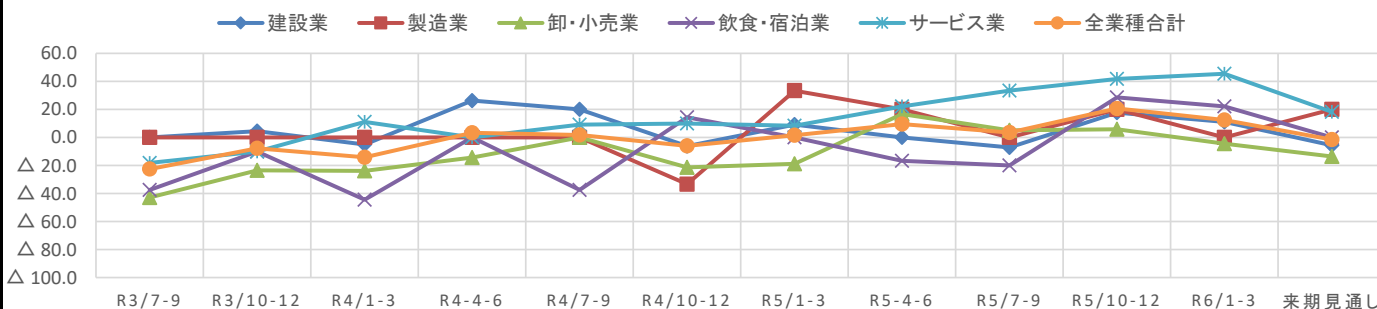
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で13.8ポイント、前回調査時より4.6ポイント減少している。サービス業のみ上昇したが、それ以外の業種では減少となった。来期については、全業種で大幅な低下予測となっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



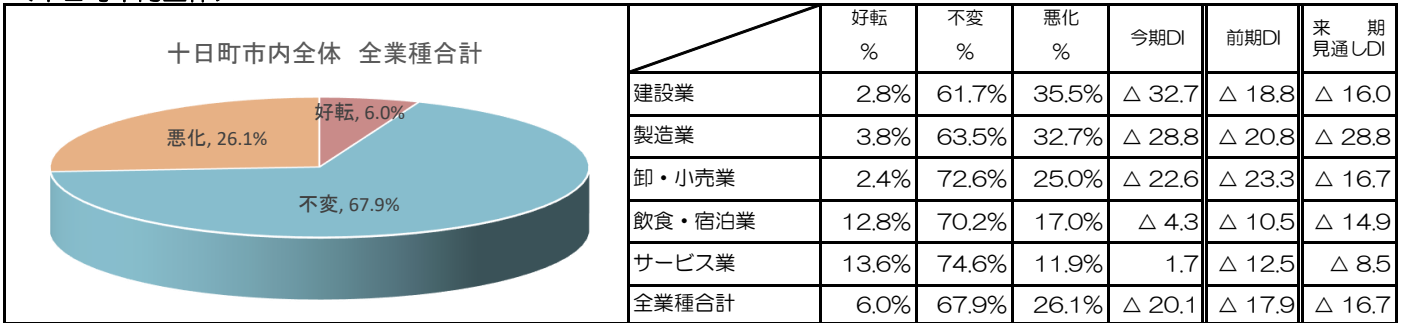
<コメント>

川西地区全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で12.5ポイント、前回調査時よりも8.2ポイント減少している。業種別に見ると、サービス業以外の業種で減少しており、特に製造業での減少幅が大きい。来期見通しでは、製造業では上昇の見込みだが、その他の業種及び全業種DI値は減少の見込みである。

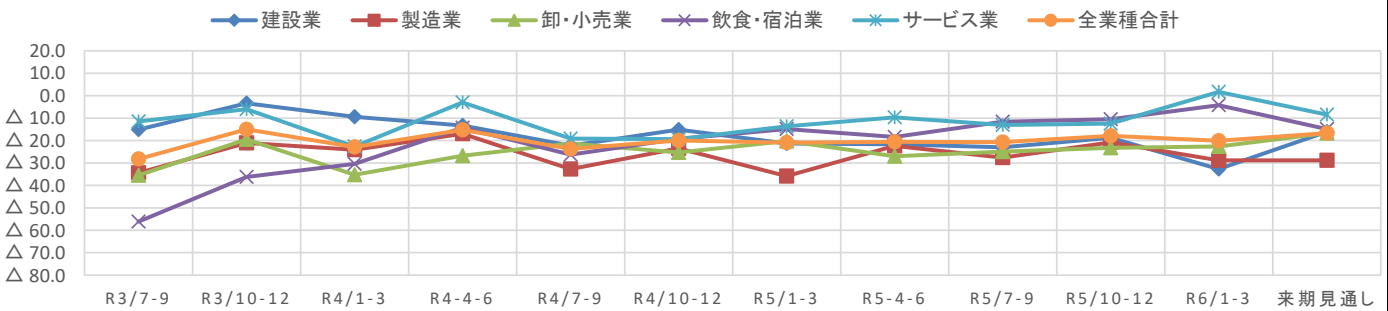
5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



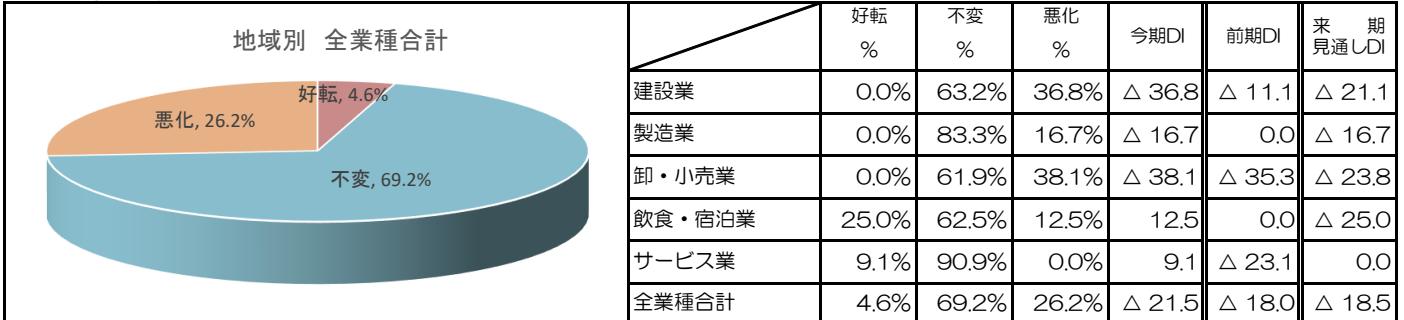
業種別資金繰りの推移(市内全体)



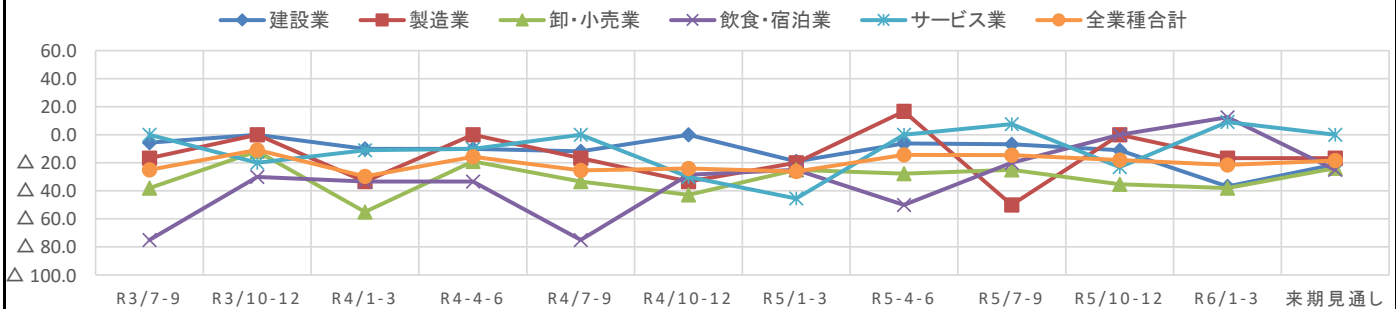
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.1ポイントで、前回調査時より2.2ポイント悪化している。建設業と製造業においてDI値が悪化した。来期見通しについては、サービス業と飲食・宿泊業の業種で悪化予測となり、全業種DI値は好転する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



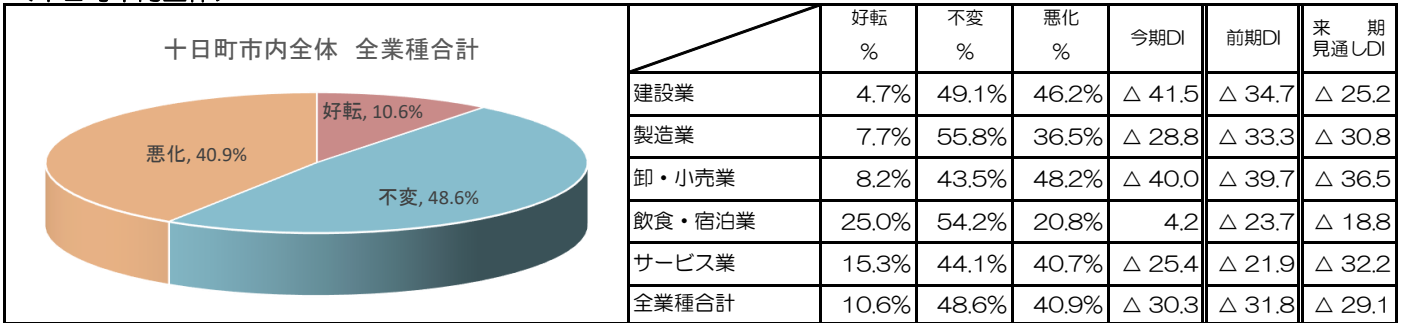
<コメント>

川西地区の資金繰り状況は、全業種DI値で△21.5ポイントで、前回調査時よりも3.5ポイント悪化となった。その中でも、飲食・宿泊業とサービス業についてはDI値が好転した。来期については、飲食・宿泊業とサービス業以外で好転の見込みとなり、全業種DI値も好転する見込みである。

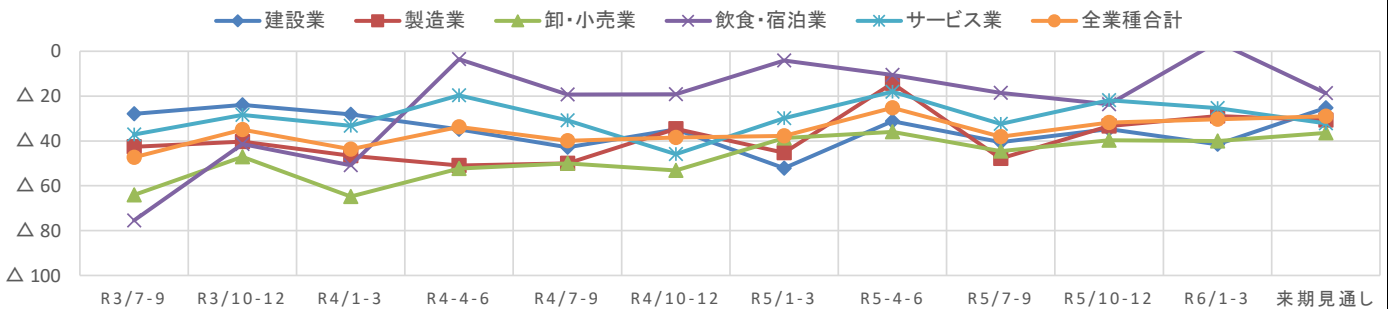
6. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



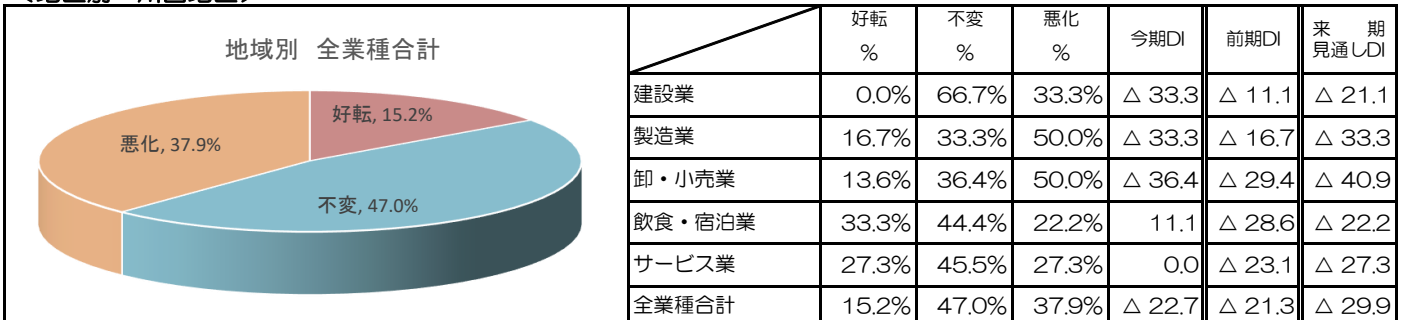
業種別景況判断の推移(市内全体)



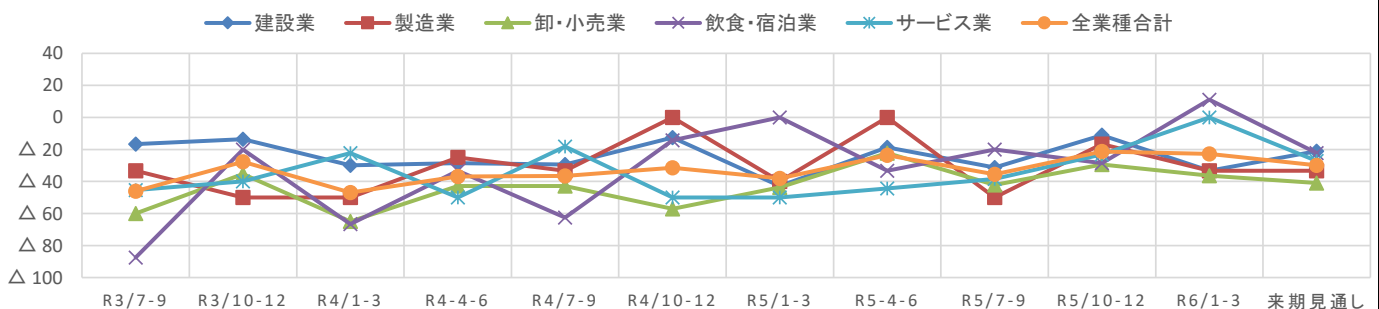
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△30.3ポイントで、前回調査時よりも1.5ポイント好転している。飲食・宿泊業では大幅な好転が見られた。来期見通しは、建設業と卸・小売業で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

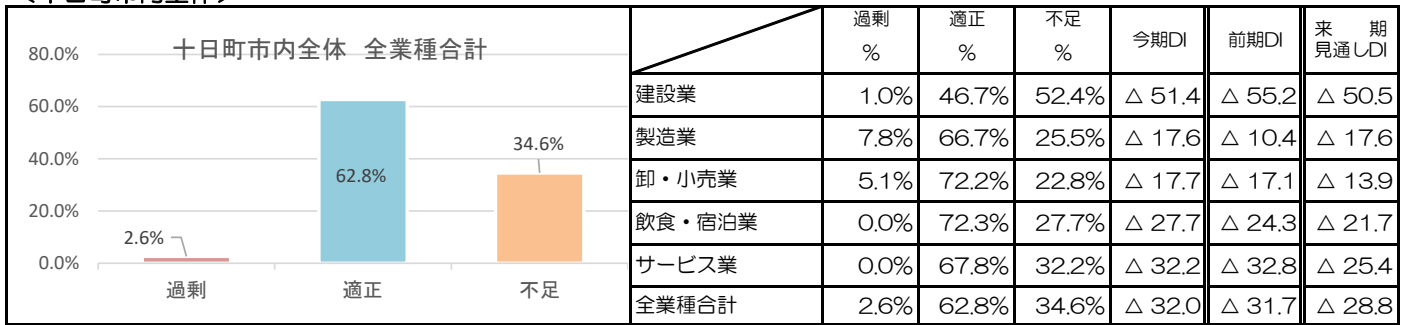


<コメント>川西地区の今期の景況判断の推移は、全業種DI値で△22.7ポイントで、前回調査時より1.4ポイント悪化した。十日町市内での結果と同じく、飲食・宿泊業では大幅な好転が見られ、さらに川西地区ではサービス業でも大幅な好転が見られた。来期見通しについては建設業のみ好転予測となり、他業種では横這い又は悪化予測となる。

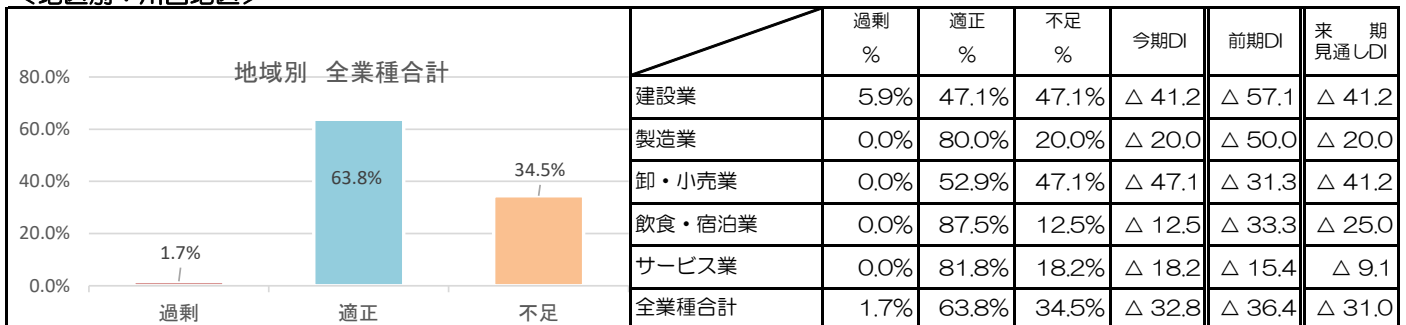
7. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

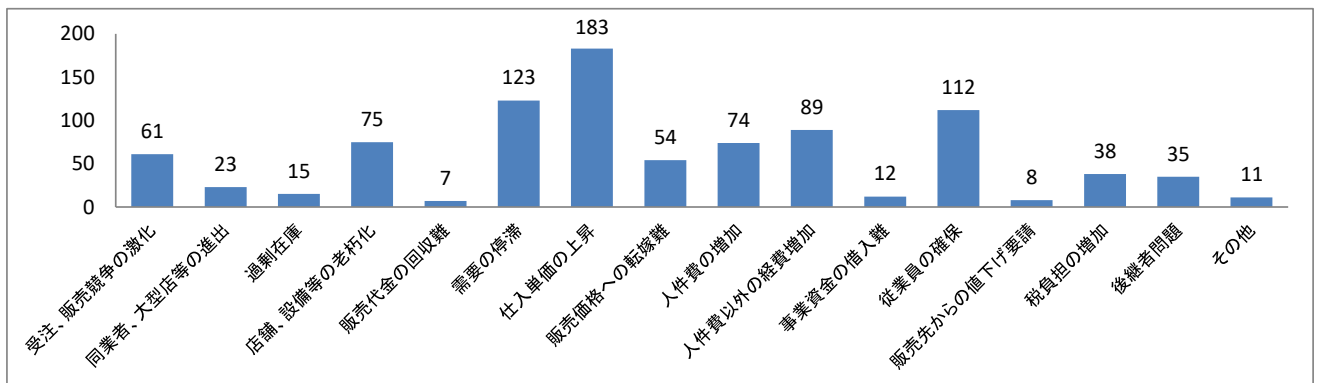


<コメント>

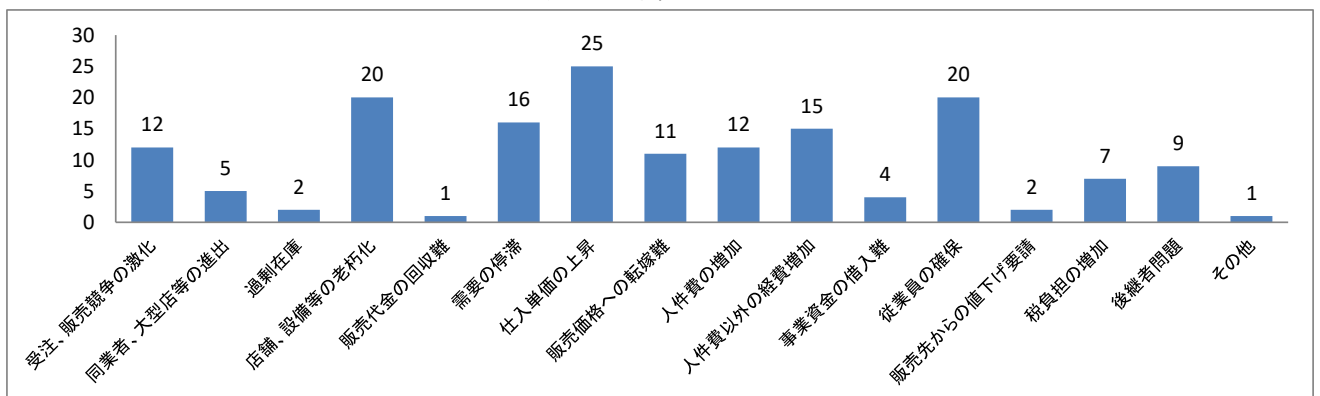
今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.3%減少、適正回答が0.3%増加、不足回答は変化なしであった。川西地区の状況は、前回調査時より過剰回答が1.7%増加、適正回答が0.2%増加、不足回答は1.9%減少であった。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：1月～3月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、前回調査と上位3項目に変化はなかった。川西地域の経営上の問題は、1位「仕入単価の上昇」、同率2位「店舗、設備等の老朽化」、「従業員の確保」となった。設備等の老朽化が深刻となり、適切な維持管理・対策が必要である。

9. 地区の景況概要

- ・1月～3月時点での全体概況は

<p>【建設業】 「売上DI値△40.0」、「採算DI値△30.0」、「資金繰りDI値△36.8」と、売上、採算、資金繰りの項目で前回調査時よりも悪化傾向となった。今後の見通しについては、「販売単価DI値△5.6」と、販売単価のみ悪化予測であり、他の項目については好転予測となっている。 「売上DI」経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多数を占めている。</p>
<p>【製造業】 「売上DI値△33.3」、「採算別DI値△66.7」、「販売単価DI値0.0」、「景況判断DI値△33.3」と、売上、採算、販売単価、景況判断の項目で前回数値よりも悪化傾向であった。「仕入単価0.0」と仕入単価においては前回よりも改善を示した。経営上の問題点は、「需要の停滞」が多数を占め、その他に「店舗、設備の老朽化」、「人件費以外の経費増加」なども挙げられた。今後の見通しについては、売上DI、採算DI、販売単価DIにおいて好転予測となっている。</p>
<p>【卸・小売業】 「仕入単価DI値△57.1」と、前回数値よりも仕入単価の低下が見受けられる。その他の項目では悪化傾向にある。一方で、経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「店舗・設備の老朽化」、「需要の停滞」、が多く挙げられ、仕入単価について悩みを抱える事業者が未だ多いことが見受けられる。 来期の見通しについては、売上DI、仕入単価DIにおいて好転予測となっている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 「資金繰りDI値12.5」、「景況判断DI値11.1」、「売上DI値88.9」と、資金繰り、景況判断、売上の項目において、大幅な増加が見られた。一方で、「採算DI値△22.2」と採算では大幅な低下があった。 今後の見通しについては、売上DI、販売単価DIにおいて減少の見込みである。 経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」、「店舗、設備等の老朽化」が多数を占めた。</p>
<p>【サービス業】 「売上DI値18.2」、「採算DI値9.1」、「仕入単価DI値△63.6」、「販売単価DI値41.7」と、売上、採算、仕入単価、販売単価ともに改善された。 今後の予測については、売上DI、採算DI、販売単価DIにおいて悪化予測である。 経営上の問題点は、「店舗、設備の老朽化」、「需要の停滞」、「仕入単価の上昇」が多く挙げられた。</p>